



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年8月10日

上場会社名 キクカワエンタープライズ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6346 URL <http://www.kikukawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菊川 厚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 一色 隆則

TEL 0596-21-2130

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	571	12.4	97		66		47	
2023年3月期第1四半期	652	8.1	28		21	75.4	7	88.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	39.35	
2023年3月期第1四半期	5.99	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	13,469	10,930	81.1	9,063.58
2023年3月期	13,277	11,029	83.1	9,147.36

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 10,930百万円 2023年3月期 11,029百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		35.00		90.00	125.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		35.00		105.00	140.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	2.1	50		20		25		20.73
通期	5,000	21.0	550	25.7	600	16.3	425	12.7	352.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,320,000 株	2023年3月期	1,320,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	114,047 株	2023年3月期	114,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,205,743 株	2023年3月期1Q	1,217,462 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における経済情勢は、コロナ禍から経済社会活動の正常化が進み、年初から日経平均株価の上昇基調が続いており、また人手不足対策から大企業を中心に積極的な賃上げ方針が浸透しつつあり、これらによる個人消費やインバウンド消費の回復等も伴いながら緩やかに回復いたしました。しかしながら、エネルギーや原材料価格の上昇による物価の高騰、供給面での制約、世界的な金融引締めによる海外景気の下振れリスク等が我が国経済の回復基調を抑制する要因となることが懸念されます。

そのような経済環境の中において、当社製造機械と関連の深い業界動向に着目しますと、木工機械関連については、国土交通省が公表した2023年6月の新設住宅着工数は前年同月比4.8%減と2ヶ月ぶりに減少しており、中でも木造比率の高い持ち家は前年同月比12.4%減と19ヵ月連続の減少となっており、建設コストの高止まり、金利上昇への可能性等を踏まえると、先行きの不透明感は続くものと予想されます。

また、工作機械関連については、日本工作機械工業会が発表した2023年6月の受注額は、金利の上昇や世界経済の減速懸念などから前年同月比21.7%減と6ヵ月連続の減少となりましたが、減少傾向には歯止めがかかりつつあり弱含みながらも堅調に推移しております。

このような事業環境のもと、当社の第1四半期における売上高は、前年同四半期比12.4%減の5億7,100万円(前年同四半期は6億5,212万円)となりました。

また損益面では、営業損失9,795万円(前年同四半期は2,880万円の営業損失)、経常損失6,640万円(前年同四半期は2,135万円の経常利益)、四半期純損失4,744万円(前年同四半期は729万円の四半期純利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1億9,217万円増加し、134億6,980万円となりました。

これは主に、現金及び預金が減少したものの、仕掛品及び流動資産のその他に含まれる前渡金がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ2億9,111万円増加し、25億3,955万円となりました。

これは主に、買掛金が減少したものの、前受金及び流動負債のその他に含まれる未払費用がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

また、純資産につきましては、前事業年度末に比べ9,893万円減少し、109億3,025万円となりました。その結果、自己資本比率は81.1%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見直しを行なう上で、まずは地政学的リスクの変動がもたらす国際政治の分断による経済活動への影響をしっかりと見定める必要があります。

また、「ゼロコロナ」政策の緩和からの経済活動が一層進み、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられます。しかしながら、エネルギーコストを含めた物価上昇や原材料等の長納期化が引き続き懸念されるなど、世界経済全体の先行きは不透明感が続くものと予想されます。

このような状況の下、日本政府が経済活動回復の為に、大規模かつ即効性のある物価対策などの各種政策を積極的に遂行して行く事にも期待したいと思っております。また、生産設備の自動化・省人化や、自動車の電動化に伴う設備投資意欲の向上等、景気回復の後押しとなり得るさまざまな要因にも注視したいと思っております。

木工機械関連では、環境対策としても資源量が豊富な国産材の自給率が40%台にまで改善しており、また低炭素型社会の実現を図る上でも再生可能資源である国産木材の大規模建築への利用拡大に対応するための新しい設備計画も増加しております。

工作機械関連では、自動生産システムやロボット製造ラインなどが普及していくことが予想され、長期的には自動化・効率化のニーズに基づく堅実な成長が見込まれます。

こういった経済環境の中で、技術・製造面においては今まで築き上げた信用を大切にすると共に、更なる製品競争力の向上に向けて新たに完成した研究開発棟の活用を図るなど、今後も全社が一体となって改善活動に努め、急速に変化する市場ニーズに応え得る顧客提案を推進して参ります。

なお、当社が掲げております業績予想は、現在入手している情報や実際の受注動向などから得られる一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により変動しうるため、その達成を当社として約束するものではありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,150,616	8,049,978
受取手形及び売掛金	1,078,459	1,032,114
有価証券	200,000	200,000
製品	37,574	80,241
仕掛品	326,991	473,162
原材料及び貯蔵品	73,138	85,065
その他	52,428	128,364
貸倒引当金	△107	△103
流動資産合計	9,919,100	10,048,824
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,191,727	1,191,727
その他(純額)	906,530	883,991
有形固定資産合計	2,098,258	2,075,719
無形固定資産		
無形固定資産	6,397	5,786
投資その他の資産		
投資有価証券	1,114,054	1,199,656
長期預金	100,000	100,000
その他	39,820	39,820
投資その他の資産合計	1,253,875	1,339,477
固定資産合計	3,358,531	3,420,982
資産合計	13,277,631	13,469,807

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	421,453	188,564
未払法人税等	84,640	3,307
前受金	585,702	1,120,932
賞与引当金	104,260	56,640
役員賞与引当金	55,000	13,750
その他	178,420	339,499
流動負債合計	1,429,476	1,722,693
固定負債		
繰延税金負債	9,644	14,637
退職給付引当金	633,082	624,687
従業員株式給付引当金	35,347	36,643
長期未払金	140,895	140,895
固定負債合計	818,969	816,862
負債合計	2,248,446	2,539,556
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	660,000	660,000
資本剰余金	395,877	395,877
利益剰余金	10,000,765	9,841,108
自己株式	△388,210	△387,568
株主資本合計	10,668,432	10,509,416
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	360,752	420,834
評価・換算差額等合計	360,752	420,834
純資産合計	11,029,185	10,930,250
負債純資産合計	13,277,631	13,469,807

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	652,125	571,004
売上原価	410,324	378,097
売上総利益	241,801	192,906
販売費及び一般管理費	270,609	290,859
営業損失(△)	△28,808	△97,952
営業外収益		
受取利息	208	245
受取配当金	13,639	16,755
為替差益	18,037	4,063
売電収入	4,295	4,392
助成金収入	12,330	—
その他	2,612	7,385
営業外収益合計	51,124	32,842
営業外費用		
売電費用	875	1,292
その他	80	—
営業外費用合計	956	1,292
経常利益又は経常損失(△)	21,359	△66,402
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	21,359	△66,402
法人税、住民税及び事業税	469	686
法人税等調整額	13,598	△19,646
法人税等合計	14,068	△18,959
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,291	△47,443

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第1四半期累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

当社は、機械の製造並びに販売事業において単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。